

取扱説明書

軟質ペットボトル専用サーバー

ウォーターサーバー

品 番	PWD-460LP (床置型)
	PWD-960LP (床置型)
	PWD-460SP (卓上型)
	PWD-960SP (卓上型)

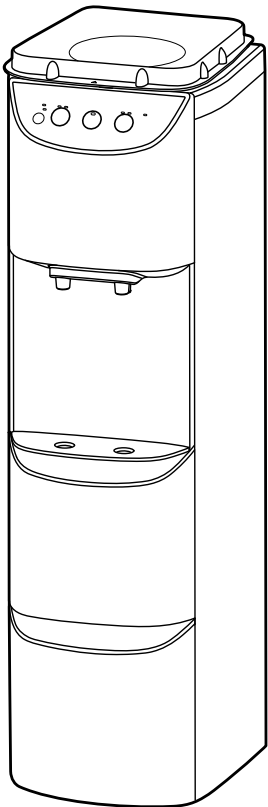
このたびは、ボトル宅配サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

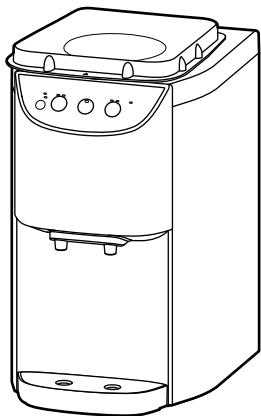
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げまたはご契約の販売代理店にご連絡ください。

その際、機器本体背面部または側面部の表示をご確認のうえ、品番・製造年月をお知らせください。



[床置型]



[卓上型]

お使いいただく前に	もくじ	ページ
	安全に正しくお使いいただくために ……	1
使い方	この取扱説明書の表示について ……	1
	必ずお守りください ……	1
	各部の名称とはたらき ……	3
	操作部 ……	3
	機器本体 ……	4
	ご利用前の準備 ……	5
	機器の準備 ……	5
	使い方 ……	6
	冷水を注ぐ ……	6
	冷水と弱冷を切り替える ……	6
長くお使いいただくために	温水を注ぐ ……	7
	高温を使用する ……	8
	ECO運転をする ……	9
	ECO運転を解除する ……	9
	Repeat Modeを設定する ……	9
	Repeat Modeを解除する ……	9
	Repeat Mode中、他の時間にECO運転をする…	10
	チャイルドロックの設定・解除 ……	10
	自動チャイルドロックの設定・解除 ……	10
	Clean Modeについて ……	11
	ご使用時に特に注意すること ……	12
	ボトルの交換・取り扱い ……	13
	ボトルの交換 ……	13
	ボトルの取り扱い ……	14
	お手入れについて ……	15
	お手入れ ……	15
	故障かな?と思ったら ……	17
	アラーム表示について ……	18
	仕様 ……	裏表紙
	アフターサービスについて ……	裏表紙

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

必ずお守りください

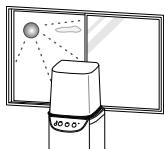
安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。



警告

屋外や直射日光のあたる場所・高温多湿になる場所・ほこりっぽい場所・臭いの強い物がある場所・不衛生な場所には設置しない

水質が変化し、それを飲用した場合に異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



禁止

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所で使用しない
シンナーなど、揮発性の高い溶剤などを近くで使用しない

爆発や火災のおそれがあります。



禁止

気温が氷点下になる場所・発熱物による熱の影響を受ける場所には設置しない

故障の原因になります。



禁止

電源プラグを濡れた手で触らない

感電のおそれがあります。



禁止

電源プラグをウォーターサーバーの背面で押し付けない

感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたり、無理に曲げたり、束ねたりしない
また、加熱や加工をしない

火災や漏電・感電のおそれがあります。



禁止

電源は単相100V・定格15A以上の専用コンセントを使用する(日本国内専用)

延長コードの使用やタコ足配線を行うと、火災や漏電のおそれがあります。



必ず行う

ウォーターサーバーは、水平な安定した場所に設置する
設置面が安定していないとウォーターサーバーが転倒したり、ボトルが落下したりするなど、ケガや感電・火災の原因になります。また、機器が正常に動作しなくなるおそれがあります。



必ず行う

設置の際、ウォーターサーバーは周囲と15cm以上離す
また、本体にほこりや汚れがたまらないように定期的にクリーニングする

火災や故障の原因になるおそれがあります。
また、冷却に時間がかかる場合があります。



必ず行う

設置後の本体の移動は、電源を切ってから1時間以上経過してから行う

移動および保管をする場合、45°以上傾けず、電源プラグを抜き、必ず立てた状態にしておく
やけどや火災のおそれがあります。



必ず行う

設置場所によっては、感電防止のため漏電ブレーカーを取り付ける

漏電ブレーカーの取り付けは専門業者に依頼してください。



必ず行う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・火災の原因になります。
また、緩んだコンセントは使用しないでください。



必ず行う

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ部を持って抜く

断線やショートによって、発熱や火災の原因になります。



必ず行う

アース工事は、電気設備に関する技術基準など関連する法令・規制などに従って、必ず「法的資格者」が行う

故障や漏電のとき、感電や火災のおそれがあります。



アースを接続せよ

アースはガス管や電話回線のアースなどに接続しない

火災のおそれがあります。



アースを接続せよ

必ずお守りください

警告

異常時は使用しない

異音や異臭がする(焦げ臭いなど)場合や、発煙・発火などの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止して、電源プラグを抜き、販売代理店にご連絡ください。



電源プラグを抜いたままの使用や、温水タンクの温水ヒーターを「OFF」にしたままの使用は、絶対にしない(→P.5)

水質が変化し、それを飲用した場合に異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



禁止

このウォーターサーバーは、軟質ペットボトル専用です。硬質ボトルは使用しない。

また、他の水や液体をボトルに入れて使用したり、他の水や液体の入ったボトルを装填して使用したりは絶対にしない。

ウォーターサーバー内部が汚染され、それを飲用した場合に異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



禁止

ボトルを保管するときは、屋外や直射日光が当たる場所・高温多湿になる場所・ほこりっぽい場所・不衛生な場所・臭いの強いものがある場所などに置かない。



禁止

ウォーターサーバーの背面部や、内部の部品は熱くなるので触らない。

棒や指などを無理やり入れない。

感電や、やけどのおそれがあります。



禁止

絶対に分解・修理・改造を行わない。

感電・火災・故障のおそれがあります。



分解禁止

長期間(目安として2~3週間以上)使用しないまま放置しない。また、電源は抜かない。

水質が変化し、それを飲用した場合に異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



禁止

幼児や正しく操作することが困難な人には一人で操作させない。

感電や、やけどのおそれがあります。



禁止

温水を使用する場合は、熱いお湯が出るのでやけどに注意する。

特に小さなお子様には注意してください。

温水の取水操作を乳幼児に見せないでください。



高温注意

電源プラグにほこりが付着していないか、定期的に確認し拭き取る。

ほこりがたまると、感電・火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず行う

必ず、取扱説明書の手順に従って出水する。

手順に従わない場合、思わぬ事故や故障などの原因になります。



必ず行う

ボトルの差込口周辺や、冷水・温水の出口部付近は特に清潔に保って使用する。

また、ボトルは必ずセットしてから使用する。

不衛生になると臭いや雑菌発生の原因になり、それを飲用した場合に異味・異臭を感じたり、体調に悪影響を及ぼしたりするおそれがあります。



必ず行う

注意

湿気の多い場所や、水のかかる場所に設置しない。

漏電や故障の原因になります。



禁止

本体やボトルの上に乗ったり、物を載せたりしない。

また、本体を揺すったり、傾けたりしない。

本体の転倒や故障、または思わぬ事故などの原因になります。



禁止

日常のご使用時には、清潔で衛生的な状態を保つ。

汚れの付着や不衛生なご使用は、雑菌の発生などを招きますので、この取扱説明書に記載されている注意事項やお手入れのしかたに従って、お客様ご自身でお手入れを行ってください。



必ず行う

ボトル交換後、すぐにお湯を使用しない。

お湯が不安定に出る場合があり、やけどのおそれがあります。ボトル交換後は、しばらく(2分程度)してからご使用ください。



禁止

ウォーターサーバーの到着後や、移動後は一定時間経過してから電源を入れる。

冷却不良の原因になります。



必ず行う

背面部の清掃時は、必ず電源プラグを抜く。

感電のおそれがあります。



必ず行う

温水・冷水出口部に指や棒などを差し込まない。

熱いお湯が出てやけどをしたり、床をぬらして損害を生じるおそれがあります。



高温注意

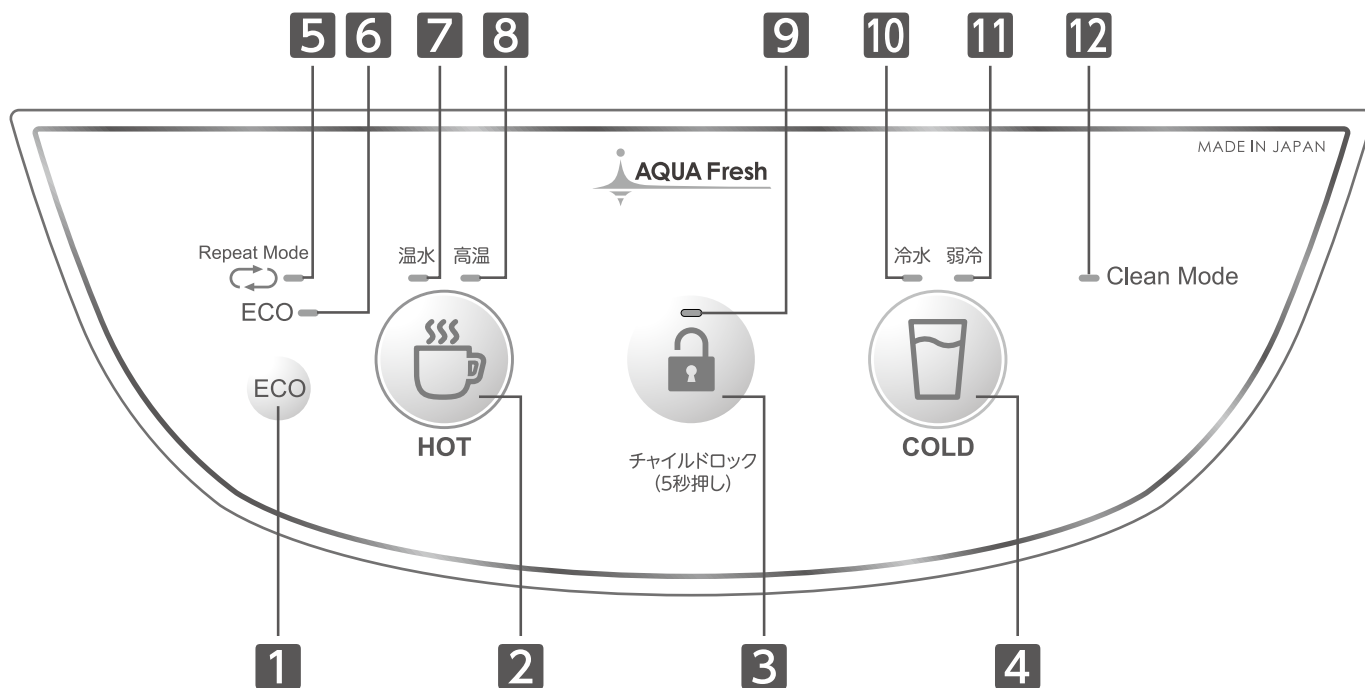


●冷水や温水に白色やキラキラした浮遊物が発生することがあります。これは水に含まれるミネラル分で、品質には問題ありません。

●温水や冷水を連続で使用すると、注ぐ量が多くなっていくにつれて、温水・冷水ともに常温に近づきます。このような場合は使用をやめ、しばらく時間をおくと元の設定温度に復帰します。なお、復帰時間の目安は、約30~40分程です。

各部の名称とはたらき

■操作部



1 ECOスイッチ

- ・ECO運転の「入」/「切」をするときに押します。(→P.9)
- ・3秒間長押しでRepeat Modeになります。(→P.9)

ECO運転とは

使用しない時間帯に温水の温度を下げて、節電します。

2 HOTスイッチ

- ・温水を出すときに押します。(→P.7)
- ・2秒間長押しで温水と高温の切り替えができます。(→P.8)

3 ロック解除スイッチ

- ・ロックを解除するときに押します。(→P.5～7)
- ・5秒間長押しでチャイルドロックになります。(→P.10)

4 COLDスイッチ

- ・冷水を出すときに押します。(→P.6)
- ・2秒間長押しで冷水と弱冷の切り替えができます。(→P.6)

5 Repeat Mode ランプ[グリーン]

Repeat Mode中に点灯します。(→P.9)

Repeat Modeとは

毎日同じ時間帯に、ECO運転を繰り返します。

6 ECOランプ[グリーン]

ECO運転中に点灯します。(→P.9)

7 温水ランプ[グリーン]または[オレンジ]

温水設定中に点灯します。(→P.7)
グリーン: 適温(80℃以上)
オレンジ: 適温未滿

8 高温ランプ[グリーン]または[オレンジ]

高温設定中に点灯します。(→P.8)
グリーン: 適温(約90～93℃)
オレンジ: 適温未滿

9 ロック解除ランプ[グリーン]

ロック解除中に点滅します。(→P.6～8)
チャイルドロック中に点灯します。(→P.10)

10 冷水ランプ[グリーン]または[オレンジ]

冷水設定中に点灯します。(→P.6)
グリーン: 適温(約6～12℃)
オレンジ: 適温より高い温度

11 弱冷ランプ[グリーン]または[オレンジ]

弱冷設定中に点灯します。(→P.6)
グリーン: 適温(約12～16℃)
オレンジ: 適温より高い温度

12 Clean Mode ランプ[グリーン]

Clean Mode中に点灯します。(→P.11)
点灯中は、冷水・温水を使用できません。

Clean Modeとは

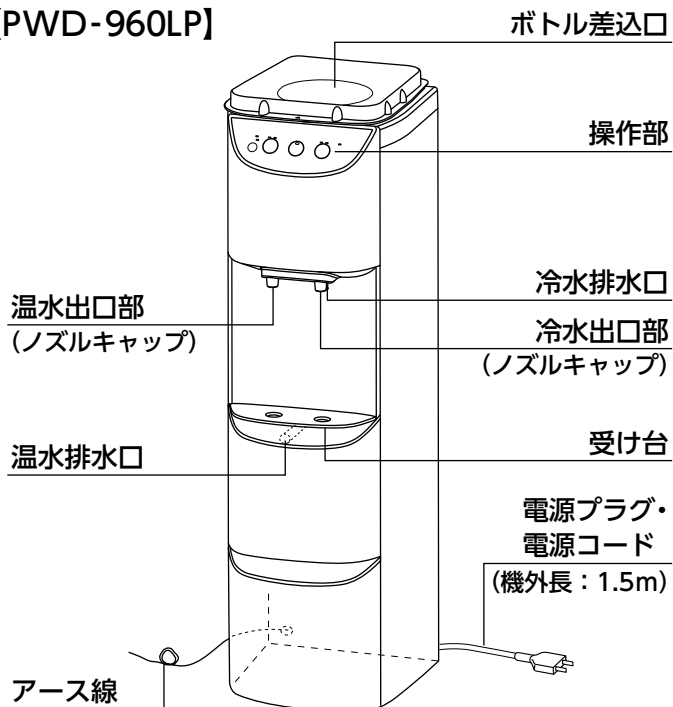
機器の通水部に温水を循環し、クリーンな状態を保ちます。

各部の名称とはたらき

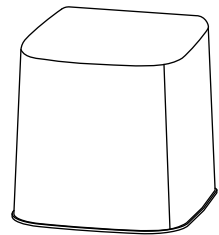
■機器本体

【PWD-460LP】

【PWD-960LP】



ボトルカバー
(別支給品)



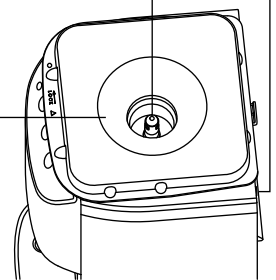
持ち手

取水部

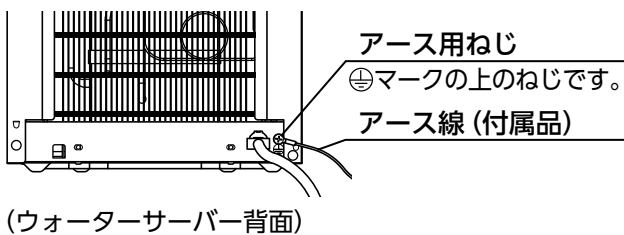
ボトルから、ウォーターサーバー内部に水を取り込みます。

ボトルガード

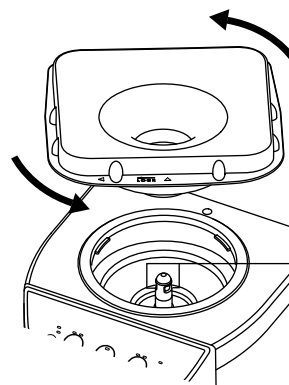
ボトルを逆さまに載せて固定する所です。



PWD-460LP、960LP：アース線の取り付け位置



外す

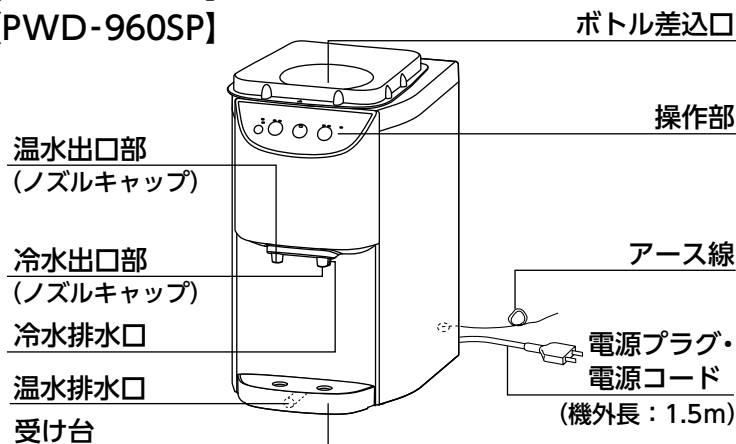


取水口

取水口は2か所あります。

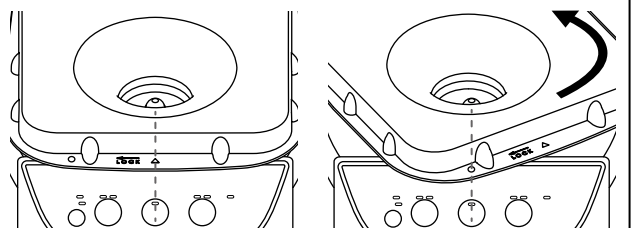
【PWD-460SP】

【PWD-960SP】



ボトルガードの外し方

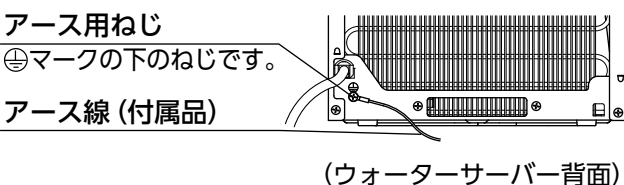
1. △マークと機器の正面中央が合っています。(ロック(LOCK)状態)
2. ボトルガードを反時計回りに回し、○マークを機器の正面中央に合わせて上に持ち上げます。



ボトルガードの取り付け方

取り付けは、上記とは逆の手順で行ってください。△マークと機器正面中央を合わせたあと、ボトルガードが外れないことを確認してください。

PWD-460SP、960SP：アース線の取り付け位置



ご利用前の準備

■機器の準備

ウォーターサーバーを設置する

1. アースを取り付ける

【以下は床置型のみ】

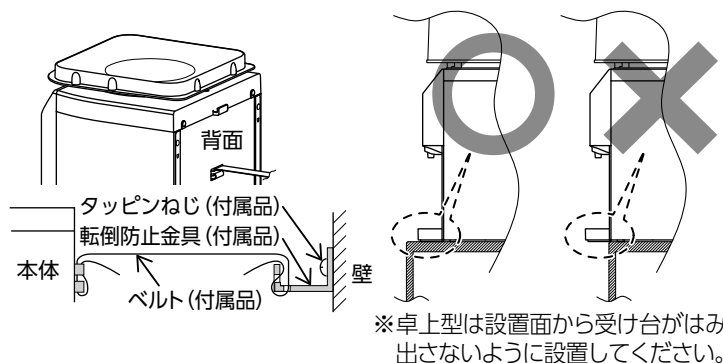
2. 転倒防止金具(付属品)を近くの壁にタッピンねじ2本(付属品)で固定する

3. ベルト(付属品)を右図のように取り付ける

※平らで安定した場所に、壁から15cm以上離して設置してください。

※設置・移動時には、ボトルガードを持たないでください。
ボトルガードに過度な力を加えないでください。

※設置・移動時には、受け台を持たないでください。



2 ボトルをボトルガード部にセットする

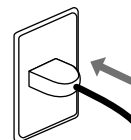
※■ボトルの交換(→P.13)をご覧のうえ、ボトルをセットしてください。

電源プラグをコンセントに差し込む

冷水ランプが点灯します。

温水ランプが点滅します。

※安全にご使用いただくために、ロック解除長押しモードがあります。



【ロック解除長押しモード】

ロック解除長押しモードは、小さなお子様がいる場合など、より安全性に配慮したいお客様のために設けました。ロック解除長押しモードでは、を2秒間長押しすることでロックが解除されるため、安全性が向上します。

〔設定〕

1. を押しながら電源プラグをコンセントに差し込む

※冷水ランプが点灯するまでを長押ししてください。

2. 冷水ランプの点灯後、から指を離す

〔解除〕

1. 電源プラグをコンセントから抜き、15秒以上経過後、再度コンセントに差し込む

温水タンク内のエア抜きをする

1. を押す

ロック解除ランプが点滅します。

2. カップなどを用意し、温水出口部から水が出てくるまでを長押しする(約90秒)

温水ヒーターをONにする

1. ロックされた状態でを3秒間長押しする

温水ランプが点灯します。

※停電などで通電が止まり、再通電したあとは温水ランプが点滅します。再度、温水ヒーターをONにしてください。

設置後の確認

ボトル付近、ウォーターサーバー内部および背面などから水漏れがないか確認します。

万一、水漏れがある場合は、「故障かな?と思ったら」(→P.17)をご確認のうえ、お買い上げまたはご契約の販売代理店にご連絡ください。設置終了後30～40分で、温水および冷水が適温になります。

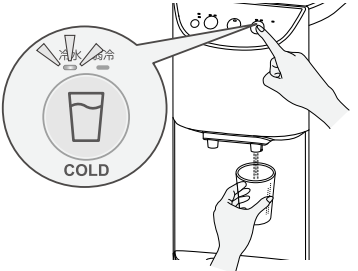
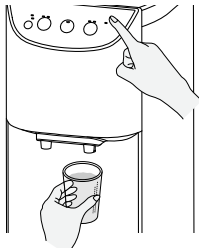


●ボトルをセットしない、または温水タンク内のエア抜きをしないまま、電源を入れて長期間放置しないでください。Clean Mode学習機能(→P.11)により、温水ヒーターが自動でONになった際、安全装置がはたらいてウォーターサーバーが使用できなくなるおそれがあります。

使い方

■冷水を注ぐ

使用する前には必ず、ロック解除を行ってください。

操 作		説 明
1	 を押す ロックが解除されます。 ※チャイルドロック中は、ロック解除できません。 チャイルドロックを解除してください。(→P.10)	 点滅 ロック解除ランプが点滅します。 ※ロック解除長押しモード(→P.5)を設定している場合は、  を2秒間長押しします。
	 を押す 押している間、冷水が出ます。	 押す 10秒以内に押すと冷水が出ます。 ※ロック解除を行っていない場合は、  を押しても冷水は出ません。 初回設置時は、冷水に設定されています。(冷水ランプ点灯) ※適温になるまで約30～40分程かかります。 180ccのコップ約7杯の冷水が出せます。
3	 から指を離す 冷水が止まります。	 離す 使用後、10秒以上経過すると自動でロックされた状態になり、ロック解除ランプが消灯します。  を押しても冷水は出ません。



- ロック解除中にを押すとロック解除ランプが消灯し、再度ロックされた状態になります。
- ロック解除中、冷水温度が高い(40℃以上)場合はを押しても、冷水は使用できません。(安全機能)
- 冷水使用中に他のスイッチを押した場合は、冷水が止まります。再度、を押すと冷水が出ます。
- Clean Mode中(Clean Modeランプ点灯中)の場合は、冷水は使用できません。(→P.11)
- 必ずコップなどの容器を持って、冷水を注いでください。
- ボトルの水が空になったときは、できるだけ早くボトルを交換してください。
- 味や臭いに異常を感じた場合は、販売代理店までご連絡ください。

■冷水と弱冷を切り替える

冷水と弱冷は交互に切り替えることができます。

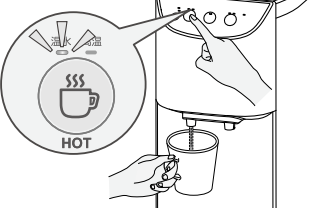
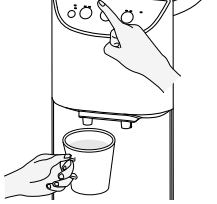
操 作		説 明
確認	ロックされた状態になっていることを確認する  消灯	ロック解除ランプが点滅しているときは、  を押します。 ロック解除ランプが点灯しているときは、  を5秒間長押しします。
冷水から弱冷に切り替える	 を2秒間長押しする 冷水から弱冷に切り替わります。  点灯	冷水ランプが消灯し、弱冷ランプが点灯します。 【弱冷ランプについて】 適温(約12～16℃)の場合：グリーン 適温以上の場合：オレンジ
弱冷から冷水に切り替える	 を2秒間長押しする 弱冷から冷水に切り替わります。  点灯	弱冷ランプが消灯し、冷水ランプが点灯します。 【冷水ランプについて】 適温(約6～12℃)の場合：グリーン 適温以上の場合：オレンジ

使い方

⚠ 警告 温水(高温)を使用するときは、やけどに注意する。
特に小さなお子様には注意してください。

■ 温水を注ぐ

温水ヒーターがONのときに使用できます。

	操 作	説 明
確認	温水ランプの点灯を確認する ※温水ランプが点滅している場合は、温水ヒーターがONになっていません。(→P.5)  点灯	温水ランプが点滅しているときは、を3秒間長押しします。 ※温水ランプ点灯後、30～40分で適温になります。 【温水ランプについて】 適温(80℃以上)の場合：グリーン 適温未満の場合：オレンジ
	1 を押す ロックが解除されます。 ※チャイルドロック中は、ロック解除できません。 チャイルドロックを解除してください。(→P.10)  点滅	ロック解除ランプが点滅します。 ※ロック解除長押しモード(→P.5)を設定している場合は、を2秒間長押しします。
2	を押す 押している間、温水が出ます。  押す	10秒以内に押すと温水が出ます。 ※ロック解除を行っていない場合は、を押しても温水は出ません。 初回設置時は、温水に設定されています。 ※180ccのカップ約5杯の温水が出せます。
3	から指を離す 温水が止まります。  離す	使用後、10秒以上経過すると自動でロックされた状態になり、ロック解除ランプが消灯します。 を押しても温水は出ません。



- ロック解除中にを押すと、再度ロックされた状態になります。
- 温水を出し始めたときに、流れが細くなることがあります。また、温水通路に空気がたまり温水がすぐに出ない場合があります。その際は、を数回押すかしばらく長押ししてください。
- 温水使用中に他のスイッチを押した場合は、温水が止まります。再度、を押すと温水が出ます。
- Clean Mode中(Clean Modeランプ点灯中)の場合でも、温水ランプが点灯すると使用できます。
- 必ず、カップなどの容器を持って、温水を注いでください。
- ボトルの水が空になったときは、できるだけ早くボトルを交換してください。
- 味や臭いに異常を感じた場合は、販売代理店までご連絡ください。

使い方

警告 温水(高温)を使用するときは、やけどに注意する。
特に小さなお子様には注意してください。

■高温を使用する

温水から高温に一度だけ沸き上げて、カップラーメンなどに適したお湯を使用することができます。

	操 作	説 明
確認	ロックされた状態になっていることを確認する	 消灯 ロック解除ランプが点滅しているときは、  を押します。 ロック解除ランプが点灯しているときは、  を5秒間長押しします。
	1  を2秒間長押しする 温水から高温に切り替わります。 適温になるまで沸き上げます。	 点灯 温水ランプが消灯し、高温ランプが点灯します。 約3分で適温になります。 【高温ランプについて】 適温(約90～93℃)の場合：グリーン 適温未満の場合：オレンジ
2	ロック解除後、  を押す 温水(高温)が出ます。	適温より下がると高温ランプが消灯し、温水ランプが点灯します。



- 温度が下がって温水ランプ[グリーン]が点灯した場合は、再度高温に切り替えてからご使用ください。
- 高温ランプ[グリーン]のときにロックされた状態で を2秒間長押しすると、高温から温水に切り替わり温水ランプの点灯に変わります。
- 停電時など、通電が止まると温水ヒーターはOFFになります。再度、温水ヒーターをONにしてください。(→P.5)
- 適温で約400cc(カップラーメン1杯分：カップラーメンの種類によっては、温度が適さないものもあります)のお湯が使用できます。
- ECO運転中は、高温を使用できません。

使い方

■ECO運転をする

ECO運転中は温水の温度を下げ、節電します。
ECO運転は、一度設定すると解除するまで続きます。

操 作		説 明
設定	 ECOを押す ECO運転を開始します。	 点灯 ECOランプ[グリーン]が点灯し、温水(または高温)ランプが消灯します。

■ECO運転を解除する

操 作		説 明
解除	 ECOを押す ECO運転が解除されます。	 消灯 ECOランプが消灯します。 解除すると温水ランプが点灯し、沸き上げを開始します。



- ECO運転中、温水は約70℃になります。冷水は、通常どおり使用できます。
- 温水ヒーターがOFFになっている場合は、ECOを押してもECO運転を行いません。

■Repeat Modeを設定する

設定した時刻から6時間、毎日同じ時間帯でECO運転を繰り返します。ご使用にならない時間帯に設定してください。

操 作		説 明
設定	 ECOを3秒間長押しする Repeat Modeが設定され、ECO運転を6時間行います。 ※ご使用にならない時間帯に設定してください。	 点灯 Repeat Modeランプ[グリーン]が点灯し、温水(または高温)ランプが消灯します。
	6時間経過すると、ECO運転を終了します。	
	 点灯 温水ランプが点灯します。 温水は適温になっています。 ※Repeat Modeランプ[グリーン]は消えません。	以降、Repeat Mode中は毎日同じ時間帯に6時間、自動でECO運転を行います。
解除	 ECOを3秒間長押しする Repeat Modeが解除されます。	 消灯 Repeat Modeランプが消灯します。

■Repeat Modeを解除する

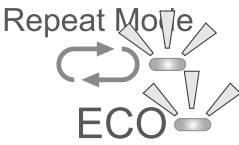
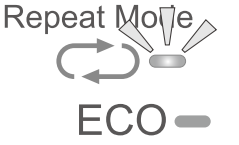
操 作		説 明
解除	 ECOを3秒間長押しする Repeat Modeが解除されます。	 消灯 Repeat Modeランプが消灯します。



- Repeat Modeを設定すると、ECO運転中に機器をクリーンな状態にするためのClean Modeを自動で行います。Repeat Mode中にClean Modeが行われるのは、7日に1回です。Clean Mode中はClean Modeランプ[グリーン]が点灯し、温水・冷水が使用できなくなります。(→P.11)

使い方

■Repeat Mode中、他の時間にECO運転をする

	操 作	説 明
設定	 を押す  点灯 点灯	Repeat Modeランプ[グリーン]とECOランプ[グリーン]が点灯します。
解除	 を押す ECO運転を終了します。  点灯 消灯	ECOランプ[グリーン]が消灯します。 ※Repeat Modeランプ[グリーン]は点灯したままになります。

- ECO運転を解除した時点から沸き上げを開始するため、適温になるまで数分かかります。
- Repeat Mode中は、7日に1回Clean Modeを行います。(→P.11)
- 停電時などで通電が止まると、ECO運転・Repeat Modeは解除されます。通電後に、再度ECO運転・Repeat Modeを設定してください。

■チャイルドロックの設定・解除

小さなお子様のいたずらや誤操作を防止するため、チャイルドロックがあります。安全のために必ずご使用ください。

	操 作	説 明
設定	 を5秒間長押しする チャイルドロックが設定されます。  点灯	ロック解除ランプ[グリーン]が点灯します。 チャイルドロック解除以外のすべての操作ができなくなります。
解除	 を5秒間長押しする チャイルドロックが解除されます。  消灯	ロック解除ランプ[グリーン]が消灯します。

■自動チャイルドロックの設定・解除

チャイルドロックの設定忘れを防止する機能です。チャイルドロックをよくご使用される場合に設定してください。

	操 作	説 明
設定	チャイルドロックが解除されている状態で  と  を同時に5秒間長押しする 自動チャイルドロックが設定されます。  点滅後 点灯	ロック解除ランプ[グリーン]が3回点滅し、その後点灯します。 温水・冷水の使用後30秒経過すると、自動でチャイルドロックされた状態になります。
解除	チャイルドロックが解除されている状態で  と  を同時に5秒間長押しする 自動チャイルドロックが解除されます。  点滅後 消灯	ロック解除ランプ[グリーン]が5回点滅し、その後消灯します。

- ウォーターサーバーは、チャイルドロックの解除(を5秒間長押し)をすれば使用できます。
- 停電時などで通電が止まっても、自動チャイルドロックの設定は解除されません。再通電したあと、すぐにチャイルドロックされた状態になります。

Clean Modeについて

Clean Modeとは

機器の通水部へ定期的に温水を循環させることで、機器をクリーンな状態に保つ機能です。

※Clean Mode中は、ウォーターサーバーを使用できません。

※Clean Modeは終了まで4時間程度かかります。途中で停止することはできません。

Clean Modeを実施するためには、以下の3つの方法があります。

□自動でClean Modeをする

このウォーターサーバーは自動でClean Modeを行う、学習機能付きです。
電源投入後は自動で学習を開始しますので、お客様の操作は不要です。

Clean Mode 学習機能

電源投入時から冷水および温水のご使用状況を7日間学習し、8日目に自動でClean Modeを行います。
2回目以降のClean Modeは7日に1回、1回目と同じ時間帯に行います。

※ご使用状況(使用しない時間が短いなど)により、Clean Modeが行われない場合があります。

※Clean Modeが行われなかった場合(Clean Modeランプ[グリーン]が点滅)や、ご希望ではない時間帯にClean Modeが行われた場合は、□**手動でClean Modeをする**(→次項参照)をご覧ください、Clean Modeを行ってください。

※Repeat Modeを設定している場合は、Repeat Modeの時間内でClean Modeを行います。

※Repeat Modeを解除した場合は、その時点から冷水および温水のご使用状況を7日間学習し、8日目に自動でClean Modeを行います。2回目以降のClean Modeは7日に1回、1回目と同じ時間帯に行います。

※学習機能により自動でClean Modeを行う際は、温水ヒーターが自動でONになります。

□手動でClean Modeをする

Clean Modeランプ[グリーン]が点滅した場合や、ご希望ではない時間帯にClean Modeが行われた場合は、ご使用にならない時間帯に手動でClean Modeを行ってください。

操 作		説 明
確認 設定	ロックされた状態になっていることを確認する  消灯	ロック解除ランプが点滅しているときは、  を押します。 ロック解除ランプが点灯しているときは、  を5秒間長押しします。
	 と  を同時に3秒間長押しする  Clean Mode 点灯 Clean Modeを開始します。 Clean Mode終了後、温水ランプ・冷水ランプが点灯し通常どおり使用できます。 以降は7日に1回、同じ時間帯に自動でClean Modeを繰り返します。	Clean Modeランプ[グリーン]が点灯し、温水ランプ・冷水(または弱冷)ランプが消灯します。 ※Clean Modeは終了まで4時間程度かかります。ご使用にならない時間帯に行ってください。

□Repeat Modeを利用する

Repeat Modeを設定すると、設定した時刻から6時間、毎日同じ時間帯でECO運転を繰り返します。(→ P.9)
また、Repeat Mode中は7日に1回、自動でClean Modeも行います。

※Clean Modeは、電源投入時または前回のClean Modeから7日間経過後のECO運転中に行います。



●Clean Mode中はウォーターサーバーを使用できません。

●Clean Modeは途中で停止できません。誤ってClean Modeを行った場合や、ご希望ではない時間帯にClean Modeが開始された場合は、一度電源プラグをコンセントから抜き、15秒以上経過後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。なお、適温になるまで時間がかかる場合があります。

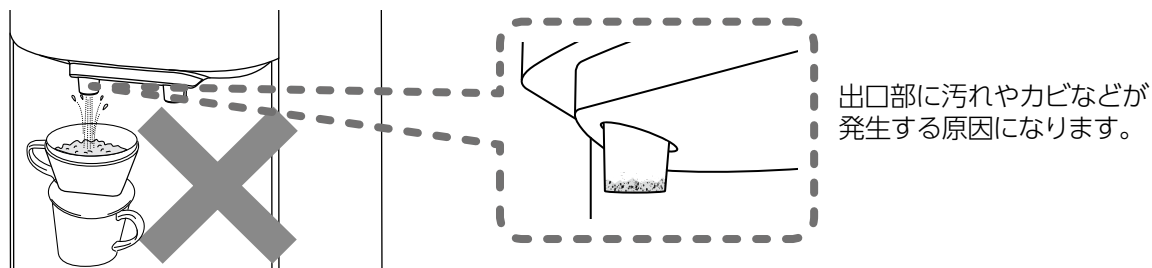
●Clean Modeランプ点灯中に温水ランプが点灯した場合は、温水のみ使用できます。

●夏場など、室温が高い場合(30℃以上)はClean Modeが5時間を超えることがあります。

ご使用時に特に注意すること

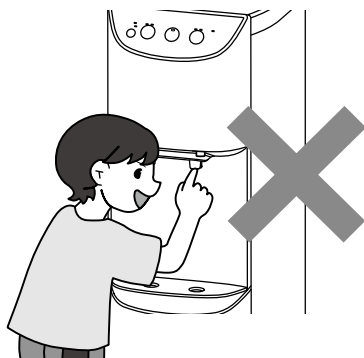
□冷水や温水を容器に受けるときの注意

- ◆容器は出口部の真下で、やや距離をあけて受けるようにしてください。出口部に容器が近すぎると、出口部が容器内につかってしまい不衛生になります。
- ◆容器内にコーヒー・紅茶が入っていたり、焼酎・ウイスキー・乳酸菌飲料などの原液が入っていたりする場合や、つぎ足しをする場合には、出口部に飲料の跳ね返りが付着することがありますので注意してください。カビや雑菌が発生する原因や、冷水および温水が濁って出たり、出方が乱れたりする原因になります。



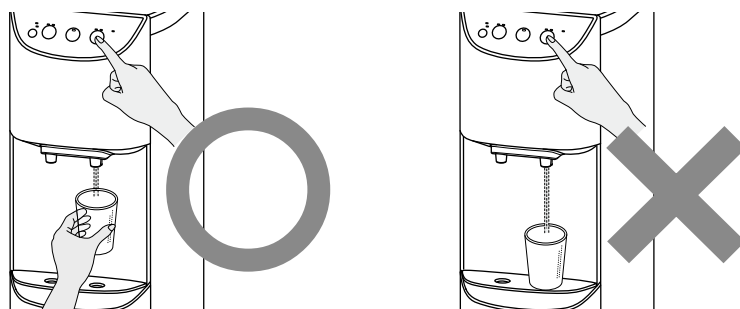
□出口部に指や食品が触れないように注意

- ◆出口部に指や食品が触れると、指や食品に付着している雑菌によって、注ぐ冷水(温水)が不衛生になります。
- ◆温水使用後は出口部が高温になっていますので、やけどのおそれがあります。特に、小さなお子様などは出口部に触らない(ノズルキャップに指を入れたりしない)ように注意してください。



□受け台に容器を置いて、冷水や温水を注がない

- ◆容器を必ず手に持ってから、冷水や温水を容器に注いでください。



ボトルの交換・取り扱い

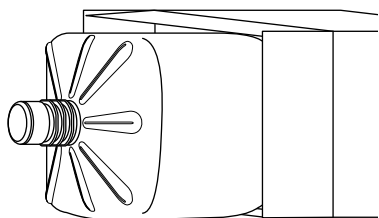
■ボトルの交換

ボトル内の水がなくなりましたら、交換してください。手順は以下のとおりです。
(ボトルには取っ手(テープ)付きのものと、付いていないものがあります)

交換する新しいボトルを近くに準備する

段ボールを横にして、ボトルを取り出します。

1



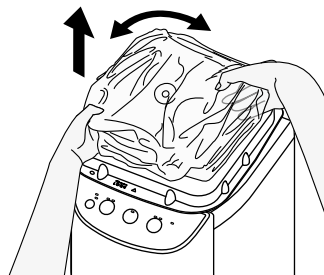
ボトルカバーを上を持ち上げて外し、空になったボトルをウォーターサーバーから引き抜く

ボトルの角を両手で持ち、左右に回しながら上に引き上げます。

※ボトルが取っ手(テープ)付きのものは、取っ手(テープ)を持って引き上げると、ボトルがあごや顔面などに当たることがあります。取っ手(テープ)を持って引き上げないでください。

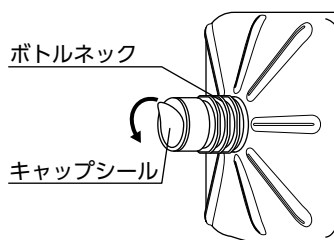
2

取水部の底に水がたまっている場合は、清潔なキッチンペーパーで拭き取り、台所用アルコール除菌剤で取水部のお手入れをしてください。(→P.15)



新しいボトルを取り付ける

①キャップシールをはがす

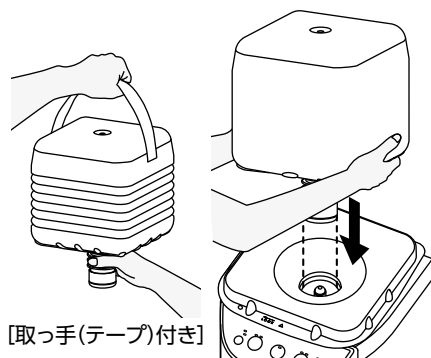


②ボトルを両手で持ち、口を取水部の中央に合わせて垂直に差し込む 取っ手(テープ)付きのものは、取っ手(テープ)とボトルネックを持ち、口を取水部の中央に合わせて垂直に差し込む

※ボトルの口には逆止弁が付いているため、逆さまにしても水は漏れません。

※ボトルを差し込む際、落下などの危険がありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

※満水状態のボトルは大変重いので、お取り扱いにはご注意ください。



3

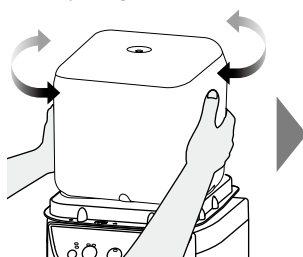
③ボトルに手を添え、左右に2～3回軽く揺する

ボトルの差し込みが深くなるようにします。
ボトルの四隅をボトルガードの角に合わせてください。

※ボトルを正しくセットして水漏れを防止するため、必ず行ってください。

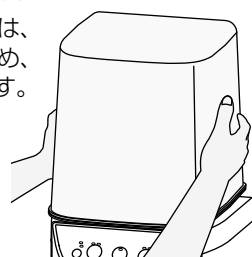


必ず行う



④ボトルカバーを真上から被せる

※ボトルカバーを被せるときは、ボトルとの隙間が少ないため、きつと感じる場合があります。



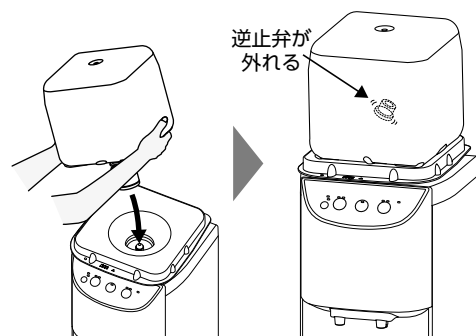
【ボトル内の水がなくなると…】

- ◆温水タンクが空だき防止構造になっているため、お湯が使用できなくなります。新しいボトルに交換するとお湯が使用できます。
- ◆Clean Mode異常(アラーム)が発生して、使用できなくなることがあります。この場合は「故障かな?と思ったら」(→P.18)に従い処置を行ってください。

【ボトルに水が残っているが、ボトルを外したいときは…】

- ◆ボトルの逆止弁が外れていないことを確認します。
外れていない場合は、ボトルを外すことができます。
外し方は、2をご覧ください。
逆止弁が外れている場合は、ボトルから水が漏れますので外さないでください。

斜めに差し込むと…



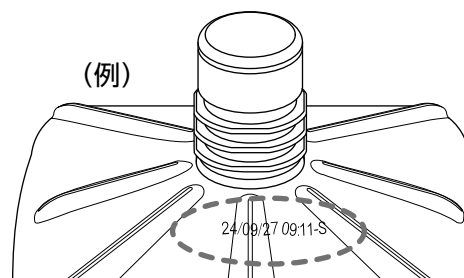
逆止弁が外れてしまった場合は、水を最後まで使い切ってからボトルを交換してください。途中で取り替えようとすると水が漏れてしまいます。

ボトルの交換・取り扱い

■ボトルの取り扱い

1. 賞味期限について

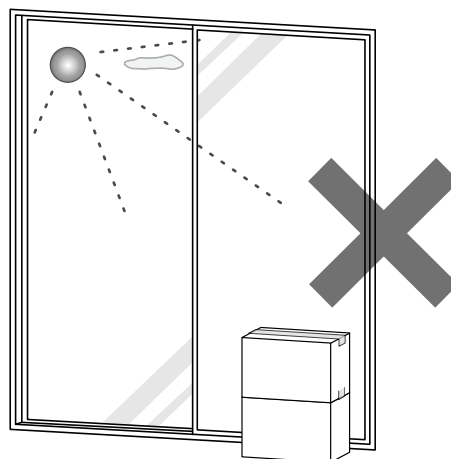
- ◆賞味期限は、ボトル外装部に印字してあります。
開封後は、なるべくお早めにお飲みください。



2. ボトルの保管について

- ◆直射日光を避け、室内で温度変化の少ない清潔な場所に、段ボールに入った状態のままで保管してください。
次のような場所での保管は絶対にしないでください。

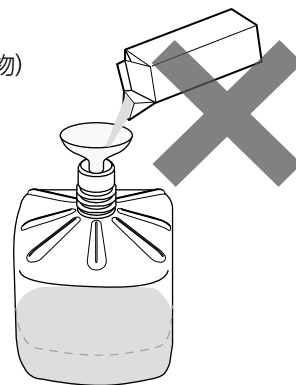
- ・屋外、ベランダなど直射日光が当たる場所
- ・日当たりの良い場所
- ・ほこりっぽい場所
- ・高温になる場所
- ・多湿になる場所
- ・臭いの強い物がある場所
- ・不衛生な場所
- ・水にぬれるおそれのある場所



3. ご使用後のボトルの取り扱いについて

- ◆空になったボトルは、ボトルとキャップと取っ手(テープ)付きのものはテープに分けてください。
外箱のダンボールは、資源ゴミとして処分してください。
- ※分別したボトル(PET)・キャップ(ポリエチレン)・取っ手(テープ)付きのものはテープ(不燃物)につまましては、お住まいの地域に従って処理をしてください。

- ◆他の水や液体は入れないでください。
空になったボトルに他の水や液体を入れることは絶対にしないでください。



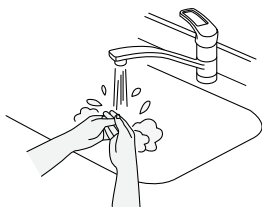
お手入れについて

■お手入れ

1. 冷水・温水出口部のお手入れ(日々必ず行ってください)

- ◆毎日おいしくお水をご利用いただくには、ウォーターサーバーの衛生管理が重要です。
お客様ご自身にて手洗いを十分したうえで、台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパーを利用して、日々のお手入れを行ってください。

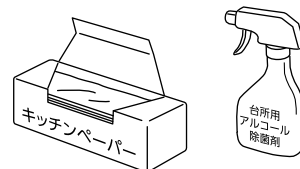
①はじめに手を洗う



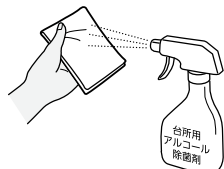
②ノズルキャップを左に回して外し、歯ブラシや綿棒などを使用して洗う(ノズルキャップの外し方・付け方参照)



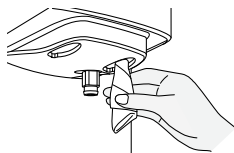
③キッチンペーパーと台所用アルコール除菌剤を準備する



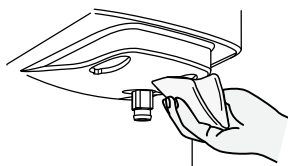
④アルコール除菌剤をキッチンペーパーに吹きつける



⑤水が触れる部分のみを先に拭き取る ※奥の方まで差し込むと、湯・水が出る場合があります。



⑥周辺を掃除する



⑦ノズルキャップを元の位置に取り付ける(ノズルキャップの外し方・付け方参照)

— ノズルキャップの外し方・付け方 —

※ノズルキャップの取り付けは、直接手を触れずにアルコール除菌剤を含ませたキッチンペーパーを使用してください。

外し方	付け方
ノズルキャップを左に回してロックを外し、まっすぐ下に下ろします。	△マークを正面に向け、製品の切り欠きとノズルキャップの突起部を合わせ、上に押し当てながら右に回し、ロックします。

外し方: ノズルキャップを左に回してロックを外し、まっすぐ下に下ろします。

付け方: △マークを正面に向け、製品の切り欠きとノズルキャップの突起部を合わせ、上に押し当てながら右に回し、ロックします。

ノズルキャップ

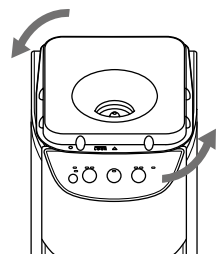
切り欠き

突起

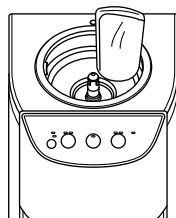
2. 取水部のお手入れ(ボトル交換時に必ず行ってください)

- ◆ボトルを交換する際は、取水部に水が溜まったり、ほこりなどの汚れが付きまでするので、必ずボトルガードを左に回して外し(→P.4)、水をキッチンペーパーで完全に吸い取ってください。
取水部に水が溜まったまま、汚れが付着したままになると雑菌が繁殖するおそれがあります。また、雑菌が繁殖すると水に臭いが発生する場合があります。
- ◆水を吸い取ったあと、キッチンペーパーに台所用アルコール除菌剤を吹きつけて取水部および取水口を丁寧に清掃し、乾燥させてからボトルガードを右に回してロックし(→P.4)、新しいボトルをセットしてください。

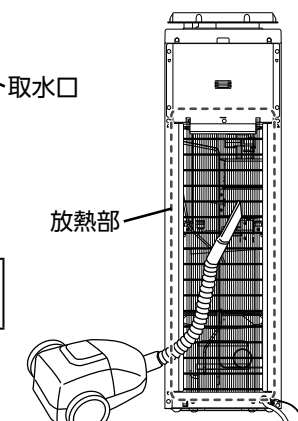
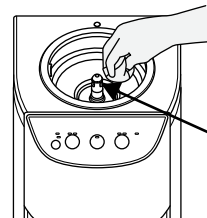
①水が溜まっていたらボトルガードを左に回して外す



②キッチンペーパーで完全に吸い取る



③取水部および取水口を清掃し、乾燥させる その後、ボトルガードを元に戻す



3. 背面放熱部のお手入れ

⚠注意 背面のお手入れをする際は、必ず機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

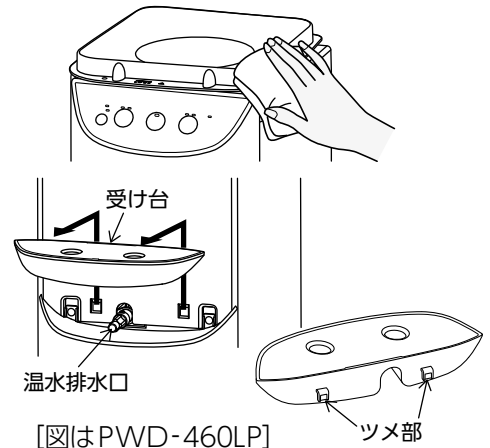
- ◆機器の背面は放熱部となっています。壁面に密着させたり、ほこりが付着したりすると冷却効果が下がり故障の原因になります。やわらかいブラシや掃除機などを使って、定期的にほこりなどを取り除いてください。
また、放熱部は熱くなりますので、お手入れの際にはやけどに注意してください。

[図はPWD-460LP]

お手入れについて

4. 外装部のお手入れ

- ◆ やわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを拭き取ります。汚れが落ちたあと、水を含ませた布で水拭きし、乾いた布でから拭きします。台所用中性洗剤以外の洗剤やクレンザー・シンナー・ベンジンなどを絶対に使用しないでください。使用すると樹脂など外装部の割れ・変色の原因になります。
また、スポンジ・タワシなども樹脂を傷つけますので使用しないでください。
- ◆ 受け台は図のように取り外せます。
掃除をしてから水気を拭き取り、元の位置に取り付けます。
※受け台の後ろにツメがありますので、ツメを開口部へ掛けます。



お手入れ時に機器の電源プラグを抜いた場合

お手入れ後は、機器の電源プラグをコンセントに差し、 を3秒間長押しして温水ヒーターをONにしてからご使用ください。
お手入れ後の再使用時に異常を感じた場合は、販売代理店までご連絡ください。

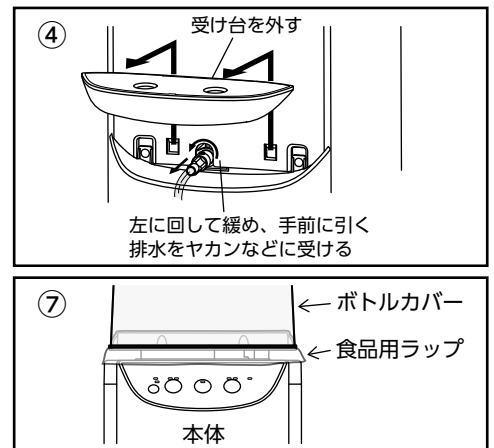
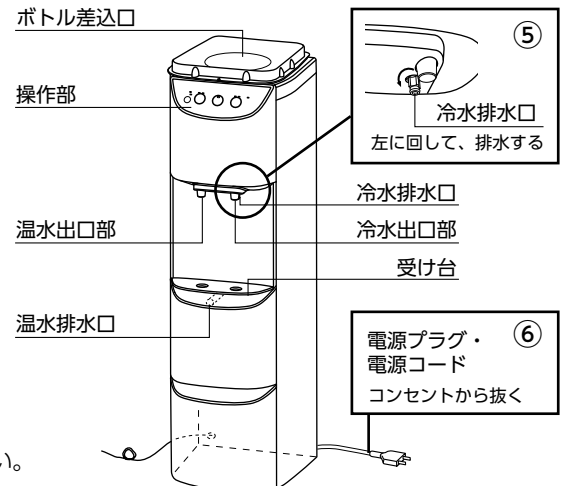
5. 長期間使用しない場合でも電源は抜かないでください

- ◆ 機器および水が不衛生な状態となり、味や臭いに影響を及ぼすおそれがあります。

6. 水抜き方法について(お引越しや移動時などに行ってください)

警告 排水時は熱いお湯が出ますのでやけどに注意してください。

- ※排水量は温水・冷水の合計で約4ℓです。
ヤカン・ナベなど、排水を受ける容器をご用意ください。
- ① ボトルを外す
- ②  と  を同時に3秒間長押しする
ECOランプが点滅します。
- ③  を押してから  を押し、温水出口部から排水する
同様に  を押してから  を押し、冷水出口部から排水する
排水は、用意した容器などに受けてください。
- ④ 受け台を外し、温水排水口を左に回して緩め、手前に10mm程引いて排水する
排水は、用意した容器などに受けてください。
※必要に応じて市販のホース(内径10mm)を排水口に差し、排水してください。
- ⑤ 冷水排水口を左に回して、排水する
排水は、用意した容器などに受けてください。
※5～10分で排水は終わります。15分後には温水ランプ[グリーン]・高温ランプ[グリーン]・冷水ランプ[グリーン]・弱冷ランプ[グリーン]が点滅して動作終了となります。
- ⑥ すべての排水が終了したあと、温水排水口・冷水排水口を元どおりに閉め、電源プラグをコンセントから抜く
- ⑦ 水抜きが完了したあと、ボトルガード全体を食品用ラップなどで覆う
ほこりやゴミが入らないようにします。
ボトルカバーを被せ、覆いが外れないようにしてください。
水抜き後は速やかに再使用してください。
- ⑧ 再使用する場合は「ご利用前の準備」(→P.5)を参照する
※再使用の際、万一味や臭いに異常を感じたときは、販売代理店にご連絡いただき、機器内部のクリーニングをご依頼ください。



7. 電源プラグ・コードの破損や水漏れの点検

- ◆ 次の内容を点検してください。(感電事故や火災の原因になるため)
 - ① 電源コードや電源プラグに亀裂がないですか?
 - ② ほこりが付着していませんか?
 - ③ 電源プラグは確実に根元まで差し込まれていますか?
 - ④ 電源コードが発熱していませんか?
 - ⑤ 重い物の下敷きになっていませんか?
- ◆ 本体の底面や背面部から水漏れがないか定期的に点検してください。水漏れは感電事故などの危険があります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思っても、よく調べると故障ではない場合もあります。
下表の内容を確認して、処置を行ってください。

症 状	原 因	処 置
冷水または温水が出ない	☐ 電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	☐ 停電または漏電ブレーカーが切れていませんか？	配電盤を点検してください。
	☐ 温水タンクのエアー抜きをしましたか？	エアー抜きを行ってください。(→P.5)
	☐ ボトルが空になっていませんか？	ボトルを交換してください。
	☐ チャイルドロックが設定されていませんか？	チャイルドロックを解除してください。(→P.10)
	☐ Clean Modeランプが点灯していませんか？	故障や異常ではありません。(→P.11) Clean Mode中は使用できません。
温水が熱くならない	☐ 温水通路に空気がたまることがあります。	HOTスイッチを数回押すか、しばらく押し続けてください。
	☐ 温水ランプが点滅していませんか？	温水ヒーターをONにしてください。(→P.5)
冷水が冷たくなかない	☐ 温水の出し過ぎなどで、加熱時間が短くなっていませんか？	一度に大量の温水を使用すると、ぬるくなります。時間を置いてから使用してください。
	☐ 温度設定が適切ですか？	操作部の冷水／弱冷ランプをご確認ください。
	☐ 冷水の出し過ぎなどで、冷却時間が短くなっていませんか？	一度に大量の冷水を使用すると、ぬるくなります。時間を置いてから使用してください。
	☐ 放熱部に熱気がこもっていませんか？	本体の背面に十分なスペースが空いているか、また直射日光が当たっていないか、放熱部にほこりが溜まっていないか確認してください。
水が漏れている	☐ コンプレッサーが運転していません。	販売代理店までお問い合わせください。
	☐ タンク、温水・冷水出口部が破損していませんか？	水抜き方法についての①～⑥(→P.16) を行ったあと、販売代理店までお問い合わせください。
	☐ 内部部品が故障・破損している可能性があります。	
	☐ ボトルの接続部が破損していませんか？	
	☐ 温水・冷水排水口が緩んでいませんか？	温水・冷水排水口を締めてください。
放熱部が熱い	☐ ボトルは接続されていますか？	ボトルをしっかり接続し、給水接続口の凸部をロックしてください。
	☐ 室温が高めになると放熱部が熱くなることがあります。	故障や異常ではありません。
本体からカチカチまたはピキピキという音がする	☐ 加熱・冷却する際、金属が膨張・収縮する音です。	故障や異常ではありません。
本体からビリビリという大きな音がする	☐ コンプレッサーが正常に作動していません。	販売代理店までお問い合わせください。
操作部のランプが点灯しない	☐ 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	☐ 停電または漏電ブレーカーが切れていませんか？	配電盤を点検してください。
	☐ ECOランプ[グリーン]が点灯していませんか？	ECO運転になっています。故障ではありません。(→P.9)
冷水や温水が濁って出る	☐ 冷水・温水出口部が汚れていませんか？	冷水・温水出口部のお手入れ(→P.15) を行ってください。

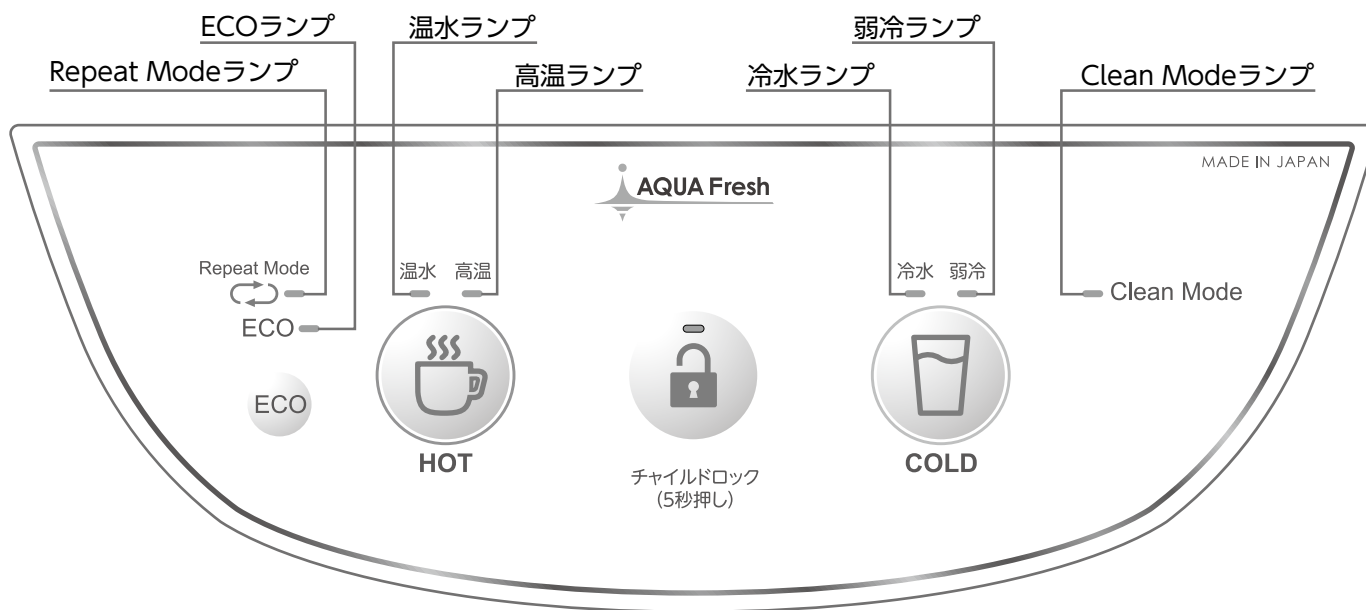
故障かな？と思ったら

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、ランプが点滅してお知らせします。
不具合の内容と点滅しているランプを販売代理店にご連絡ください。

ランプ色		点滅状態	内容	処置方法
Clean Mode グリーン		点滅	Clean Mode 7日以上未実施	手動でClean Modeを行ってください。 (→P.11)
ECO グリーン	Repeat Mode グリーン	同時点滅	ボトル水14日以上未使用	使用すれば表示が消えます。
温水 オレンジ	高温 オレンジ	交互点滅	温水サーミスタ断線・短絡	ボトルに水があることを確認後、電源プラグを抜いて15秒後に入れ直し、温水ヒーターをONにしてください。 (→P.5) それでもアラーム表示が出る場合は、電源プラグを抜き、販売代理店に修理を依頼してください。
			温水タンク空だき	
			温水ヒーター断線	
			温水ヒーター連続通電	
冷水 オレンジ	弱冷 オレンジ	交互点滅	冷水サーミスタ断線・短絡	
			コンプレッサー連続通電	
高温 オレンジ	弱冷 オレンジ	交互点滅	Clean Mode異常	
温水 オレンジ	冷水 オレンジ	交互点滅	バイパス弁故障	
			電装基板異常	

アラーム時に点滅するランプについて



仕様

□床置型仕様

名	称	ウォーターサーバー (冷温両用タイプ)	
品	番	PWD-460LP (床置型)	PWD-960LP (床置型)
定	格	単相100V (50Hz/60Hz)	
消 費 電 力		冷却115W/130W 加熱450W/450W 温水高温循環時460W/460W	
電 源 コ ー ド		機外長1.5m (2心)	
寸 法 (mm)	本 体	290(幅) × 300(奥行) × 995(高さ)	
	ボトルカバー装着時	290(幅) × 300(奥行) × 約1,250(高さ)	
質	量	約15 kg	
冷 水	タ ン ク 容 量	1.6ℓ	
	最大抽出能力	約1.3ℓ 180mℓ 約7杯(冷水)	
	温 度	冷水: 約6℃～12℃ 弱冷: 約12℃～16℃	
温 水	タ ン ク 容 量	1.6ℓ	
	最大抽出能力	約0.9ℓ 180mℓ 約5杯(温水)	
	温 度	温水: 約80℃～89℃ 高温: 約90℃～93℃	
使 用 環 境		屋内5℃～35℃の環境下でご使用ください	

※冷水・温水の温度は、機器出口の温度です。設置環境や使用状況により若干異なります。

※製品の仕様は、製品改良に伴い予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

□卓上型仕様

名	称	ウォーターサーバー (冷温両用タイプ)	
品	番	PWD-460SP (卓上型)	PWD-960SP (卓上型)
定	格	単相100V (50Hz/60Hz)	
消 費 電 力		冷却105W/120W 加熱450W/450W 温水高温循環時460W/460W	
電 源 コ ー ド		機外長1.5m (2心)	
寸 法 (mm)	本 体	320(幅) × 390(奥行) × 555(高さ)	
	ボトルカバー装着時	320(幅) × 390(奥行) × 約810(高さ)	
質	量	約14 kg	
冷 水	タ ン ク 容 量	1.6ℓ	
	最大抽出能力	約1.3ℓ 180mℓ 約7杯(冷水)	
	温 度	冷水: 約6℃～12℃ 弱冷: 約12℃～16℃	
温 水	タ ン ク 容 量	1.6ℓ	
	最大抽出能力	約0.9ℓ 180mℓ 約5杯(温水)	
	温 度	温水: 約80℃～89℃ 高温: 約90℃～93℃	
使 用 環 境		屋内5℃～35℃の環境下でご使用ください	

※冷水・温水の温度は、機器出口の温度です。設置環境や使用状況により若干異なります。

※製品の仕様は、製品改良に伴い予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(→P.17～18)の内容をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはお客様ご自身で修理なさらずに、お買い上げまたはご契約の販売代理店にご連絡ください。

また、機器の異常・水の味や臭いに異常を感じましたら、直ちにご使用を中止してください。

●販売代理店名

●製造元

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田 201

6NG008